

大分銀行との「地方創生に関する連携協定」締結について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、株式会社大分銀行（頭取 後藤 富一郎）と、本日、幅広い分野での地方創生に関する連携協定を締結しました。

大分銀行において、生命保険会社と地方創生に関する連携協定を締結するのは、当社がはじめてとなります。

本連携協定の締結により、大分銀行が進める地域の産業振興策や健康づくりの推進等に、当社が保険事業や社会貢献活動等を通じて培った知見やノウハウを提供します。加えて、当社の大分県内における営業網（1支社・1営業部・10営業所の拠点網、従業員約400人）を活用し、大分銀行とともに地域社会の発展に取り組んでまいります。

■大分銀行との「地方創生に関する連携協定」について

1. 名称

「株式会社大分銀行と明治安田生命保険相互会社の地方創生に関する連携協定」

2. 主な連携事項

（1）産業振興および観光振興に関すること

- ・当社が主催する異業種交流会（東京、福岡、大阪開催）を通じた、大分銀行取引先企業のビジネス機会創出の支援
- ・社内イントラネットを活用した、地域商社 O i t a M a d e 株式会社（注）が事業展開している地域ブランド商品の紹介・PR
- ・大分県の観光情報の社内外への発信
- ・当社ネットワークを活用した、大分銀行ならびに大分銀行取引先企業の商品やサービスのPR

（注）大分銀行が設立支援した地域商社。大分県内の優れた素材を商品化し国内外に販売することを目的としている

（2）健康づくりの推進に関すること

- ・健康経営等に関するセミナーの共同開催やサポートプログラムの提供
- ・認知症・介護・健康づくり、相続等ライフプランセミナーへの講師派遣

（3）その他、地方創生の推進に関すること

- ・CSR活動への共同取組みの実施
- ・大分銀行と連携・協働した、自治体が取り組む地域創生事業への支援

以上